



学校の情報環境の整備状況は
平良木 哲也(日本共産党議員団)



問／学校の情報環境の整備状況はどうか。

答／据置型ルータやモバイルルータを活用し、特別教室等を含め、令和5年度までに整備した。

問／体育館では生徒総会や学年集会、PTA総会でも活用できると思うが、対応しているか。

答／体育館では機能面で劣るモバイルルータを使用しているため対応していない。現場と意見を交わして必要性を見極めたい。

問／せっかく多くの児童生徒が校内のルータに同時に接続できて、学校と外を結ぶ回線の容量が小さいため、インターネット接続に限界があるのではないかという懸念があるがどうか。

答／持ち帰って調査する。

中学校部活動の地域移行の状況は

問／部活動の種類による進捗度の差はないか。

答／スポーツ分野で先行している。文化芸術分野では、吹奏楽と美術の分野で具体的な地域クラブの整備に向けた検討を行っている。

問／吹奏楽では様々な課題があるが、保護者負担は他の分野と同じように生ずる方向か。

答／大前提として、学校の部活動と地域のクラブ活動は一緒に考えられないことがある。学校では平日の部活動は残る。地域クラブは土日の移行に限定しての話だ。教職員の働き方改革では、週3日以上の休養日をつくる。



学歴差別などの不適切発言は許されない
橋爪 法一(日本共産党議員団)



問／令和6年6月の学歴差別ともいえる発言は、令和5年7月の発言と無関係とは思えない。学歴差別の意識、公立と私立の高校の差別的な意識があったのではないか。令和5年7月には謝罪・反省して、二度と問題を起こさないという決意をしたのに、なぜ令和6年6月に不適切発言が出てくるのか。

答／私には学歴差別の考え方はないし、学歴によって評価されることはあつてはいけないと考えている。

問／それだと答えになっていない。どうして差別的な発言を繰り返したのか、自己分析が必要なのではないか。その分析に立った答弁をせよ。

答／私の発言が学歴差別発言と受け止められてしまったことについては、猛省しなくてはいい。

問／そう言うのであれば、なぜ不適切発言が続いたのか。その要因を整理して、我々にも説明すべきではないか。私たち日本共産党議員団では、学歴で人を判断する歪んだものの見方がある点などの3点で分析したが、あなたの分析とどう違うか。反論があるなら述べてほしい。

答／繰り返しになるが、学歴で判断せず多様な方々が様々な場面で活躍する姿が望ましいと思っており、その考え方は変わっていない。

編集後記

実りの秋となりましたが、農家の皆さんにとっては豊作の年となったでしょうか。市議会では昨年度の財政運営を審議する9月決算議会が開かれ、無事審議を終えました。本年度の後半に向け、市民の皆様との更なる対話の機会を設けてまいります。

広報広聴委員会副委員長 櫻庭節子

次号は、令和7年1月25日発行です。

次の定例会は

令和6年 **12月4日** (水)～

総括質疑	12月4日 (水)
委員会	12月5日 (木) ～ 10日 (火)
一般質問	12月11日 (水) ～ 16日 (月)
採決	12月18日 (水)

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

表紙の写真

なおえつ うみまちアート 2024 が8月24日から9月16日まで開催されました。作品名「NAOETSU TO NOTO」(写真左奥)、「チタンの窓 2024」(写真中央手前)